



第40号  
題字 佐田一郎

発行/前橋商工会議所青年部(緑水会) 前橋市日吉町一丁目8番地の1 編集/青年部総務広報委員会  
TEL 027-234-5111 FAX 027-234-8031 URL <http://www.maebashi-yeg.com>

# 代表幹事今年度の方針



前橋商工会議所青年部

代表幹事 山岸直樹

平成十五年度前橋商工会議所青年部(緑水会)第十八代代表幹事をさせて頂いたこととなりました山岸です。私には過分なる大役であります自己への最大限の挑戦と考え精一杯頑張る所存でございますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

商工会議所青年部は昨年、二十五周年の節目を経て新たな次代へと歩を進めようとしております。これも今日に致るまでの長きに亘り多くの諸先輩方の築いてきたものが礎となつているからこそと思ひます。改めまして敬意を表するとともに感謝申しあげます。

現在私達青年経済人の置かれている立場はデフレスパイラル・イラク戦争・SARSなど、様々な要因により夢の持ちづらい閉塞感に満ちた状況となっております。このような時こそ我々は力を合わせ連結し、1人1人がその特徴をもつて、生かし生かされている地域社会を盛りあげるよう働きかけるべきだと考えます。夢を語りあい、発案し、行動を通じながら実現化していくことが青年部の責務と考えます。それには本音を語り合い真に身

となる仲間づくりをしなくてはなりません。常識は踏まえ、形式にとらわれないこと、時代の流れ、変化に対応していくことが必要です。

また、会員の総数やそれを構成するメンバーがその会の社会的評価を現すとのことから、今後の会の発展、継続を考えるうえで永遠のテーマである会員拡大の活動は常に頭においておきたいと思ひます。鳥合の衆であつては何の意味もないことは言うまでもありませんが、顔を会わせて時間を共有しながらこれまでのできるらしい伝統を継承していきたいと思ひます。

「真のコミュニケーションを礎に地域社会の主役たる気概を持つて次代へチャレンジ」このスローガンの実現を目指し、一年間活動していきます。

時には苦言を呈していただきながら少しでも前へ進んでいきたいと思つておりますので、何卒ご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

# 今年度の抱負



副幹事  
嶋田大和

今年度山岸代表幹事より副幹事を仰せつかりました嶋田です。総務広報委員会と事業推進委員会を担当することとなりました。これで、五委員会すべてを一通り経験するという機会を持つことになりました。緑水会の基本活動としては、やはり委員会ではないでしょうか。会員の皆様には、是非とも委員会活動への参加をお願いしたいと思います。

我々企業経営者には、企業を維持継続発展させていく責務があります。それぞれメインとしている事業分野があると思ひますが、現在の日本経済はいつまでたつても閉塞感が払拭できません。これを打破するために、我々青年実業家は何をどうすればいいのか。みんなもがいてます。産官学・異業種・また他地域との交流連携で、複合業務の融合で、合わせ技一本が必要ではないでしょうか。まちづくり・ものづくり・ひとづくり、人間が生活する上で必要だからその仕事があり、それぞれの企業が存続しています。な、なんと緑水会にはその種がころがっているではありませんか。いや、まだよくは見えないかもしれせん。しかし確かにあります。それをつかみに緑水会とともに成長しましょうこの1年間よろしく願ひいたします。

今年度の抱負



副幹事  
長谷 浩 克

昨年度に引き続き、副幹事の指名をいただきました。昨年は、会員交流委員会を担当いたしました。今年はそれに加え、経営研究委員会と二委員会を担当することとなりました。

委員長並びに委員会の皆さんが、活動しやすい側面からのサポートに心がけていきたいと考えております。また、緑水会全体としては、昨年の二十五周年という記念すべき年を経過し、次の節目に向けてのスタートの年となる一年であります。青年部という組織の特性上、何年も続けて同じメンバーが同じ役割を担うということはありませんが、そうした流動的な組織なかでも、これまで諸先輩が築いてこられたものを礎とし、会としての発展を遂げるとともに、メンバー個人個人が、一人前の社会人、経済人として熱意と自覚を持ち着実に進歩していければと思っております。そうした活力ある組織作りや、地域に貢献する組織として成長していくことに、少しでも役に立てればと考えております。残念ながら、次の30周年を現役メンバーとして迎えることは出来ませんが、そのとき緑水会が現

在の我々より良い活動をしていると感じられるよう、その基礎作りに貢献したいと思えます。

副幹事としての抱負



副幹事  
石 井 繁 紀

本年度、副幹事を仰せつかりました石井繁紀です。

歴史ある緑水会に入会させていただき、およそ九年が経とうとしております。一昨年は委員長を仰せつかり、その一年間は自分にとって貴重な体験と様々な勉強の連続であったことが思い出されます。諸先輩方、そして会員の皆様の絶大なご協力を得ることで、委員長としての大役を無事務め上げさせていただくことができたことあらためて感謝致します。

本年は副幹事という更なる大役のお話をいただき、緊張と困惑が本音といったところ。しかしながら、このような機会を与えてくださった山岸代表幹事の期待に応えられるよう、精一杯努めて参りたいと思えます。常に自己の可能性を高めていくことにチャレンジし、微力ではありますが会員の運営に貢献できるよう努力して参ります。本年の自らの目標としては、委員会活

動のサポート、広い視野での会の運営そして、更なる自己研鑽を経て、自らの企業の発展、地域の発展を念頭に置き進んでいきたいと思えます。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の抱負



監事  
原 澤 康 隆

平成十五年の前橋商工会議所青年部において、監事を拝命致しました。この監事職は青年部に於けるご意見番とのこと、定年間近の方の役職で有ると認識しております。早くも、監事役の年になったのかと、自分の歳を痛感しております。

私は平成八年に入会以来、約七年間が瞬く間に過ぎ去りました。この間、四委員会を経験いたしました。先輩方に緑水会で、青年部の事業の事はもちろん、色々な面で教えて頂きました。いま、監事役ということで、現役の方々にも緑水会の良き伝統を引き継いで行かなければならないと思っております。卒業された先輩監事の様に、うまく監事講評や助言が出来ませんが、精一杯、会議所青年部の為に監事役を果たしたいと思っております。宜しくお願い致します。なお、個人的環境から出席できる行事も絞られますが、ご理解の上ご協力頂きたくお願い致します。

げます。

監事としての抱負



監事  
渡 邊 敏 彦

会員歴二十有余年になります私の監事としての抱負は、山岸代表幹事が掲げられましたスローガンに則り、各種行事や会合に、一企業を経営している青年経済人としてその企業の災禍を万難を期して排しながら、可能な限り参加・出席し、多種多様な経験をなされておられる先輩諸氏の方々が、いろいろな立場から、また、いろいろな場面において、助言や報告により教導してくださったコトを、次代を担おうという気概を秘めている会員へ、伝え播めていくことではないかと、自問自答いたしました。

まずは、出席・参加しなければ業務を監査することはできないでしょう。また、予算が執行される前に意見を述べたほうがよいと考えております。まだまだ経済情勢は先行不透明で閉塞感が蔓延しております。そこで、役員各位が時間を差し繰りして集まる役員会では、何か役に立つ情報はないか、毎月情報を検索収集し、披露できればと思っております。タイトな議事のあとの講評

ですのでユーモアといいますが、ウィットネスといいますがユニークさを交えて講評をさせていただけたらとも思いますが。

結びとしまして、縁を続け、恩を返し、輪を広げましょう。一年間、よろしくお祈りします。

### 総務広報委員長としての抱負



総務広報委員長  
町田 憲 昭

本年度は総務広報委員長という身に過ぎる大役を拝命いたしました。よりいっそうの緊張感の連続と、新たな自分への挑戦との一年になるであろうと心構えをしております。

昨年、一昨年は副委員長として委員長を補佐することに精一杯で、緑水会活動の全体像の把握や市役所その他団体等との交流を深める余裕がありませんでした。しかし、本年度は委員長として、山岸代表を中心に本部役員、各委員長の方々との連携を重視し、全体の中での自分の役割を十分果たせるように集中して一年を過ごしたいと思えます。担当副委員長、理事共にとっても意気込みが強く、委員の方々にも全員パーフェクト賞をとるという勢いで取り組んでいただいております。

す。そのなかでの交流を通じて私も成長させていただき、また、会員全員が総務広報という仕事を通じて、緑水会活動に参加する喜びを共有し、今後の緑水会に所属する意味を再認識していただければと願います。その結果として、緑水会全体により影響を与えられる委員会になれば存外の喜びです。どうか一年間、メンバーの皆様、また、事務局の皆様のご協力とご指導をよろしくお願いいたします。

### 会員交流委員長としての抱負



会員交流委員長  
伴 卓

まだまだ若手。先輩達についていくだけ。と思つていたら、最近の新人会員は皆私より歳下です。入会してからもうすぐ八年、委員長も二度目となり、自分の立場の変化に少々戸惑いも感じています。

会員交流委員会は、新入会員の受け入れという、とても大事な役割を持つ委員会です。緑水会で積極的に活動する意義、今はまだ分からなくても後々得られるであろう多くの財産の存在を新入会員に伝えていかなければなりません。ただし、みなさん会社を代表しての参加ですからただ単に楽しいだけでなく、キチンとすべきところは皆で集中し、抜くと

ころは抜く。入会から数年後に「緑水会に入つて良かった」と感じてもらえるための礎を築けたらいいなと考えています。

私は、緑水会での活動が必ず自分自身を高めてくれると信じ、また実感している一人です。

最後になりますが、山岸代表幹事をはじめ長谷担当副幹事、本部役員のみなさん、よろしく申し上げます。そして、副委員長をはじめ委員のみなさん、事務局のみなさん、一年間よろしく申し上げます。

### 経営研究委員長として



経営研究委員長  
前田 修

今年度、山岸代表幹事のもとで経営研究委員長の大役を仰せつかる事になりました。平成十年度に緑水会に入会後、五年間に渡り諸先輩方には仕事のイロハから、前橋の夜の活性化まで幅広く勉強させて頂き、今に至っております。こんな自分ではありますが微力ながらもこの一年間、緑水会を盛り上げられるように委員長として頑張っていきたいと思っております。

今年の経営研究委員会では『経営』をキーワードとして、この劣悪した社会情

勢のなか如何に切り開いて行くか。また、企業人としての先達者となるためにはどうしたら良いのか。と、何かしらのヒントを導き出せる様な委員会や事業を開催していきたいと考えております。昨年まで委員会で担当しておりましたホームページやメールと言ったIT関係も青年部として定着しつつありますので、今後としては大いに飛躍した形で皆様に活用して頂ければと思います。

最後に、経営研究委員会としては自分から発言し進んで実践していける委員会を目指してこの一年頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお祈り致します。

### 地域開発委員長として



地域開発委員長  
飯塚 輝 明

今年度地域開発委員長を仰せつかりました。山岸代表幹事の下でに幾つかの事業が行われていますが、緑水会が大きく若返った事が強く感じられます。そんな中で委員長をさせて頂く事を大変光栄に思います。

私自身は、三年目の地域開発委員会となります。先輩委員長の方々の下、毎年新しいことに挑戦し大変な事もありまし

たが、楽しく活動させて頂き、感動できる瞬間も頂きました。現在も厳しい環境の中でめげそうになる毎日ですが、緑水会の皆様に会い色々な話をする中で明日へ向かう勇氣と知恵を頂きなんとか踏ん張っています。今年度は委員長をさせて頂きますので「楽しさや感動」「知恵や勇氣」を頂いてばかりでなく、なんとかそれを皆様にお返し出来るように頑張りたいと思います。

これだけのメンバーが集まる緑水会は様々なソリューションがいっぱいにつまった未だ開いていない宝箱のような気がします。誰もがその箱を開けられるような場が幾つかの行事を通して創れば良いなと思います。極めて抽象的ですが今年度の抱負です。

**事業推進委員長として**



事業推進委員長  
**丸田 大介**

昨年度より引き続き、山岸代表幹事より事業推進委員長を仰せつかり身の引き締まる思いです。昨年の経験を生かし、スムーズな委員会運営を行い、緑水会に貢献できればと思います。

他の四委員会と違い、前橋市商業観光課の協力を得ての行事が多く、会員の皆

様に楽しんでいただく事よりも、裏方として参加していただく事が多いですが、会員皆様のご協力をいただき一年間頑張つていきたいと思っています。

今年一年間委員会のメンバーと共に、「緑水会が一層魅力ある素晴らしい会になるよう様々な意見交換をし、楽しむ時は徹底的に大騒ぎする」メリハリのある委員会活動を行いたいと思います。

山岸代表、嶋田担当副幹事に御指導いただき、会員皆様の御協力をいただきながら一年間頑張つていきたいと思ひます。宜しくお願ひいたします。

青年部に入会して一年未満の新入会員の方々に抱負や自社PRをしていただきましたのでよろしくお願ひします

**自社PR**



入会  
平成14年6月3日  
会員交流委員会  
(有)アンマルシェ  
**中津山 俊 輔**

緑多い、敷島公園の北にある当店、私の部屋前橋店は、十八年前に前橋駅そばに開業。そして、今から八年前にここ川原の地へ移転してまいりました。当店は「今日よりも少しだけより豊かな暮らしを」をテーマにキッチン用品、食器、バス用品、インテリア小物等、生活用品全般を販売させていただいております。お客様の多くは女性の方で、御自宅用や引き出物、御進物などのギフト等にも御利用されています。最近、店舗2階において、輸入、国産こだわり品を扱う食料店、及びゆつたりとした時間を過ごせるティールームがあるパークサイドパントリーを開設いたしました。お近くへ来られた際は、ぜひお立ち寄りください。スタッフ一同、心ある対応を精一杯させていただきます。どうぞ宜しく御願ひいたします。

**自社PR**



入会  
平成14年10月4日  
会員交流委員会  
(有)エヌディーイー  
**井上 荘志郎**

平成十五年、新会員となりました株式会社エヌディーイー代表の井上荘志郎でございます。

当社の概要を御説明いたしますと、現在宮城村におきまして管理釣場を運営させて頂いております。当社のPRと致しましては、設立当初からの経営理念として抱いて参りました「新しい事への挑戦」を第一に、常にお客さまに対して飽きさせざる事なく常に新鮮さを感じて頂くと言った事をモットーに日々努力をさせて頂いております。その例と致しまして、季節ごとにお客様に楽しんで頂いている放流魚の種類を変えたりと、その中には従来海外でしか釣る事の出来なかつた魚の輸入や本来海水魚であるスズキの純淡水化への挑戦など当社で行なつて参りました事は日本初と言つた事柄が多々ございました。その中には沢山の失敗もございましたが、今後とも当社では、お客様を喜ばせるプロのエンターテナーとして決して終わりのないドラマを演出し続けたいと思つております。アミューズメントスピリッツのもとに。

自社PR



入会  
平成14年10月4日  
会員交流委員会  
井上ビニール(株)  
井上直也

初めまして、平成十四年十月緑水会に入会させて頂き八ヶ月が経過しました。諸先輩の皆様には、貴重な経験をさせて頂いております。今後とも御指導の程宜しく御願致します。

さて、弊社「井上ビニール(株)」についてPRさせて頂きます。

昭和二十七年前橋市三河町にてビニール・ポリエチレン製品の販売を開始しました。現在、指定ごみ袋から農業用ビニールハウスまで、多岐にわたり商品を提案させて頂いております。また廃棄プラスチック材から杭やハンマー、支柱へ再生加工するリサイクル事業部も25年が経過し、公共事業などで利用されるようになりました。

弊社社員1人1人が「地球にやさしい」をモットーに商品を提案・提供できるように日々努力を重ねております。

自社PR



入会  
平成14年10月4日  
会員交流委員会  
(有)キャリア  
林 豊

昨年十月より青年部にお世話頂いております。当社は人材派遣及び業務請負を営んでおり、前橋を拠点に近県まで多数のお取引様にお世話頂いております。

昨今、各産業分野において様々な変革が行われております。各企業において

様々な課題が山積する中共通する課題の一つとして、人件費における固定費の削減及び合理化が望まれている傾向にあると存じます。企業は業務の波に依り従業員を増減を行い「必要ときに必要な人材だけ・・・」が、人材活用の理想的絵図ではないでしょうか。正社員雇用ですと事業主の意向通りなかなか社員の削減が行いにくい。ゆえ派遣会社をクッションに多岐に利便性を求め当社のような派遣会社を活用する企業が増加傾向にあります。近年では基幹部門の総務経理のセクションを一括アウトソーシングする大手企業も出て参りました。これを前提に時代のニーズに伴ない、いかに即戦力の人材をスピーディーにご提案出来るかを重視し、またご用命頂いたお取引先様のカラー等を最大限考慮し、適切な人材

をご提案する事が使命と日々尽力致しております。

是非とも需要の有ります暁にはお声掛けだけでも頂ければ幸いに存じます。また青年部におきましては、ビジネス同様初心を忘れる事無く、多岐に渡る活動に参画し

前橋市の更なる発展の為、良き裏方役を担って参りたいと存じております。

今後とも何卒更なるご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

緑水会に入会して



服部氏より変更  
平成14年11月5日  
総務広報委員会  
(株)東和銀行  
大塚 秀樹

私の勤務する東和銀行は、「役に立つ銀行」「信頼される銀行」「発展する銀行」という経営理念のもと、多様化・高度化するお客様のニーズに的確にお応えするために、金融機能の充実とサービスの向上に努めています。また、地域社会の一員として、環境保護・文化事業の開催や協賛・スポーツ支援などの活動を行っております。

私も昨年十月から、服部のあとを引き継ぐ形で入会することになりました。積

自社PR



入会  
平成14年12月4日  
会員交流委員会  
画廊 山月  
鈴木 泰徳

極的に参加してたくさんの方々との交流を深めていきたいと思っております。金融に関する事で相談等ありましたら、お気軽にお声をおかけください。今後ともよろしく申し上げます。

前橋市小相木町で画廊山月を経営しております。私が画廊を始めたのは、今からちょうど九年前の二十五歳の時でした。絵を見る眼に自信があり、美術品がとて好きでしたので、この道に入りました。最近では、二十世紀のアメリカを代表する画家「ベン・シャーン」に特に力を入れて扱っており、おかげ様で色々な方々に支持して頂いております。国内の洋画家では、小林良曹・小山敬三・寺内萬治郎など色々取り扱っておりますので、ぜひお出掛け下さいませ。

商工会議所青年部には昨年の十二月に入会する事となりました。これからは青年部の活動を、諸先輩の御指導を受けながら、微力ではありますが頑張っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

い致します。

自社PR



入会  
平成15年3月4日  
会員交流委員会  
(株)高野商店  
高野 和之

緑水会に入会させていただき約二ヶ月が過ぎ、いくつかの行事に参加し、ようやく当会の雰囲気にもなれ、異業種の方々との交流で自分の考え方もより深く柔軟になったような気がします。今後もご指導の程お願いいたします。

当社は日用品・雑貨・紙類の卸売りを主たる業務とし、県内の小売業様への売場提案・商品提供、事業所様への消耗品の商品提案・提供などの営業活動をしています。何かご用命がありましたら、一声お掛けください。よろしく願います。

自社PR



入会  
平成15年4月4日  
会員交流委員会  
(株)プランニング  
町田 洋平

当社はコンピューターソフトウェア開発とデジタル画像商品を柱としております。

ソフトウェア開発では、各種業務におけるコンサルティングからソフトの設計・開発・運用・保守など幅広くお客様のニーズに答えており、社員皆スキルアップに励んでおります。

デジタル画像商品では、自社開発ソフト「写真工房」を使った写真合成、デジタルアルバム作成ソフト「楽々工房」を使った葬儀アルバム・ウェディングアルバム・写真自分史の作成のほか、ホームページ作成や各種デザインなども承っており、大変好評を得ております。

今後は前橋商工会議所青年部を通じて自分自身を成長させ、業務に生かさせていきたいと思っております。ご指導よろしく願います。

緑水会に入会して



入会  
平成15年4月4日  
会員交流委員会  
井口工業(株)  
佐藤 奈奈美

はじめまして、井口工業の佐藤奈奈美と申します。この四月より緑水会へ出席させて頂くこととなりました。同年代の人達が、前橋商工会議所を盛り上げていく姿を拝見して感動いたしました。前橋に在住していてもなかなか、参加できるものではございません。緑水会の一員になれまして光栄に思います。ただ、女性が少なく少々心細く思いました。女性にしかわからない事など提案できたら良いなと思っております。性格的には、女性らしさより、竹をスッパと割ったような性格で女性らしさを出せるかどうか少々不安ですが・・・

緑水会の一員として恥じないよう楽しく頑張りたいと思えます。今後何卒よろしく願います。

自社PR



田中氏より変更  
平成15年4月4日  
経営研究委員会  
(株)群馬銀行  
横山 貴一

私の勤務する群馬銀行は、地域社会・経済の発展を常に考え行動しお客様のニーズにお応えすべく、幅広い金融サービスの提供に努めています。また、群馬県をはじめ各地の地域社会の発展を願って積極的に社会貢献活動に当行全体で参加しています。

私も四月から光栄にも緑水会のメンバーに参加させていただき前橋市の発展に諸先輩方と精一杯頑張りたいと思えます。今後とも宜しく願います。

